

中学校 3年生 社会科 学習案内

1 目標

- ・我が国の歴史の大きな流れを、世界の歴史を背景に、各時代の特色を踏まえて理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
- ・歴史に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し複数の立場や意見を踏まえて公正に選択・判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
- ・歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される我が国の歴史に対する愛情、国民としての自覚、国家及び社会並びに文化の発展や人々の生活の向上に尽くした歴史上の人物と現代に伝わる文化遺産を尊重しようとするこの大切さについての自覚などを深め、国際協調の精神を養う。
- ・個人の尊厳と人権の意義、特に自由・権利と責任・義務との関係を広い視野から正しく認識し、民主主義、民主政治の意義、国民の生活の向上と経済活動との関わり、現代の社会生活及び国際関係などについて、個人と社会との関わりを中心に理解を深めるとともに、諸資料から現代の社会的事象に関する情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
- ・社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を現代の社会生活と関連付けて多面的・多角的に考察したり、現代社会に見られる課題について、公正に判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
- ・現代の社会的現象について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。

2 学習の進め方

【使用教科書】 中学社会 「歴史的分野」（日本文教出版）、新しい社会 公民（東京書籍）

学習課題を確認し、学習後に学習課題に迫り、理解することができたか自分の学びを振り返る。

○授業への取組

- ・歴史上の人物や、身近な地域の歴史上の人物に対して興味・関心を持ち、それぞれの人物が果たした役割や生き方などについて時代的背景と関連付けて考えよう。
- ・地理的分野、歴史的分野での学習内容と関連付けて学習し、自由・権利と責任と義務との関係を広い視野から正しく認識し、生活の向上と経済活動の関わり、現代社会の生活、国際関係について個人と社会との関わりを中心に理解を深めよう。
- ・様々な資料から現代の社会的事象に関する情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けよう。
- ・現代社会に見られる課題について、公正に判断したりする力、考えたことを説明したり、議論する力を身に付けよう。
- ・公民的分野では、習得した知識、概念や技能を活用して、社会的事象について考えたことを説明したり、自分の考えを文章で表現したり、議論したりして考えを深めよう。

○家庭学習の例

- ・歴史的分野では、身近な地域の歴史を調べ、受け継がれてきた伝統や文化を研究する中で、我が国や世界の歴史とのつながりを考え、理解を深める。
- ・日頃から社会の動きや仕組みに関心や疑問を持ち、新聞やテレビなどメディアを通じて情報を集め、現代社会やより良い社会について自分の考えを深める。

○定期テストへの取組の例

- ・ワークを用いて、基礎的な知識を定着させる。
- ・授業で学習したことを、教科書・授業プリント・ノート・地図・資料等を活用してまとめ、整理して理解を深める。

3 評価について

観 点		評価の場面・方法
知識・技能 (何を理解しているか 何ができるか)	・我が国の国土と歴史、現代の政治、経済、国際関係等に関して理解を深めるとともに、諸資料から現代の社会的事象に関する情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けているかどうかを見ます。	・テスト ・発表の内容
思考力・判断力・表現力 (理解していること・ できることをどう使うか)	・社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察したり、現代社会に見られる課題について公正に判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養っているかどうかを見ます。	・テスト ・発表の内容 ・授業プリント、ノート等の内容
主体的に学習に取り組む態度 (粘り強く努力するとともに 自らの学習を調整する)	・社会的事象について、よりよい社会の実現を視野に主体的に社会に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、我が国の国土や歴史に対する愛情、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、他国や他国の文化を尊重することの大切さについて理解を深めようとしているか。主体的に学習を計画し、自分の学習状況を調整して成果を残すことができたかを見ます。	・授業への取り組み方 ・テスト ・レポート課題 ・ワークやノート等の内容

4 学習内容について

月	テスト	単元	評価の規準
4	実力①	近代の日本と世界 二度の世界大戦と日本 ・第一次世界大戦と戦後の世界 ・大正デモクラシーの時代 ・世界恐慌と日本 ・第二次世界大戦と日本	【知識・技能】 - 近代（後半）までの日本の大きな流れを、世界の歴史を背景に、時代の特徴をふまえて理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身につけている。 【思考・判断・表現】 - 経済の変化の政治への影響、戦争に向かう時期の社会や生活の変化、世界の動きと日本との関係などに着目して、事象を相互に関連づけるなどして、近代（後半）の社会の変化のようすを多面的・多角的に考察し、表現している。 - 近代（後半）の日本と世界を大観して、時代の特徴を多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 - 資料から時代の移り変わりを読み取る活動を通して、近代（後半）の日本と世界について見通しをもって学習に取り組もうとしている。 - 近代（後半）の日本の学習をふり振り返りながら自身の学びを確認、調整しようとするとともに、近代（後半）の時代の特徴は何かを主体的に追究しようとしている。
5		現代の日本と世界 ・平和と民主化 ・冷戦下の世界と経済大国化する日本 ・グローバル化と日本の課題	【知識・技能】 - 現代の日本の大きな流れを、世界の歴史を背景に、時代の特徴をふまえて理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身につけている。 【思考・判断・表現】 - 敗戦前後の社会の変化や冷戦体制下の日本と世界との関わりに着目して、事象を相互に関連づけるなどして、第二次世界大戦後の諸改革の特徴や世界の動きの中で新しい日本の建設が進められたことについて多面的・多角的に考察し、表現している。 - 現代の日本と世界を大観して、時代の特徴を多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 - 資料から戦争中や敗戦直後、現在のようなようすを比較することを通して、現代の日本について見通しをもって学習に取り組もうとしている。 - 現代の日本の学習をふり振り返りながら自身の学びを確認、調整しようとするとともに、現代の時代の特徴は何かを主体的に追究しようとしている。
6		現代社会と私たち ・現代社会の特徴と私たち ・私たちの生活と文化 ・現代社会の見方や考え方	【知識・技能】 - 現代社会の特徴や、現代社会における文化の意義や影響について理解し、その知識を身に付けている。 - 現代社会を捉える見方・考え方の基礎として、対立と合意、効率と公正などの見方・考え方があることに気付き、それらを理解している。 - 様々な写真や統計資料などから、現代社会の特徴や現代社会における文化の意義や影響について読み取り、図表や短文などに適切にまとめている。 【思考・判断・表現】 - 現代社会の特徴や、現代社会における文化の意義や影響について、地理的分野や歴史的分野の学習内容や、それぞれの事象の位置や空間的な広がり、推移や変化、相互の関連などに着目して多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 - 社会生活における物事の決定の仕方や決まりの意義について、身近な生活と関連付けて捉えたり、対立と合意、効率と公正の見方・考え方に基づいてまとめたり、発表したりしている。 - 現代社会の特徴や日本の伝統や文化に対する興味・関心を高め、それらが社会生活にどのような影響を与えているか、また、自分たちはその中でどのように生きていくべきかなどについて、意欲的に考えている。 - 現代社会を捉える見方・考え方について、具体的な事例を基にした活動に意欲的に取り組み、これ以降の公民的分野の学習に対する関心を深めている。
7	実力②	個人の尊重と日本国憲法	【知識・技能】 人間の尊重についての考え方を、基本的人権を中心に深め、
8			

10	2 学期 中間 テスト	・ 人権と日本国憲法 ・ 人権と共生社会 ・ これからの人権保障	法の意義を理解している。 ・ 民主的な社会生活を営むためには、法に基づく政治が大切であることを理解している。 ・ 日本国憲法が基本的人権の尊重、国民主権及び平和主義を基本的原則としていることについて理解している。 ・ 日本国及び日本国民統合の象徴としての天皇の地位と天皇の国事に関する行為について理解している。 【思考・判断・表現】 ・ 対立と合意、効率と公正、個人の尊重と法の支配、民主主義などに着目して、「ちがいのちがいがい」などの対話的な活動を通じ、我が国の政治が日本国憲法に基づいて行われていることの意義について、多面的・多角的に考察、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ 現代の社会的事象を踏まえ、人間の尊重についての考え方や日本国憲法の基本的原則などについて、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。
11	実力③	現代の民主政治と社会 ・ 現代の民主政治 ・ 国の政治の仕組み ・ 地方自治と私たち	【知識・技能】 ・ 国や地方公共団体の政治の仕組みについて、主権者の立場から理解し、その知識を身に付けている。 ・ 多数決の原理や政党の役割、公正な裁判の保障などについて理解するとともに、国民の政治参加の重要性を理解している。 ・ 国や地方公共団体の政治に関する新聞記事や法令、判例などの資料を様々な方法で収集・選択し、政治や社会の現状や課題についての的確に読み取ったり、文章や図表などにまとめたりしている。 【思考・判断・表現】 ・ 政治に関する様々な事象や課題について、対立と合意、効率と公正などの観点から多面的・多角的に考察するとともに、主権者としての政治参加の在り方について考えている。 ・ 選挙や裁判、地方自治などに関する多様な活動を通して、根拠を挙げながら自分の意見を分かりやすく説明するとともに、多様な価値観を尊重しながら話し合いを行い、その過程や結果を適切に表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ 国や地方公共団体の政治に対する関心を高め、学習に意欲的に取り組んでいる。 ・ 民主政治をより良く運営していくためにはどのような仕組みが必要か、また自分は政治にどのように関わっていけばよいか、意欲的に考えている。
12	2 学期 期末 テスト	私たちの暮らしと経済 ・ 消費生活と市場経済 ・ 生産と労働 ・ 市場経済の仕組みと金融 ・ 財政と国民の福祉 ・ これからの経済と社会	【知識・技能】 ・ 身近な消費生活を中心に、経済活動の意義について理解している。 ・ 市場経済の基本的な考え方について理解している。その際、市場における価格の決まり方や資源の配分について理解している。 ・ 現代の生産や金融などの仕組みや働きを理解している。 ・ 勤労の権利と義務、労働組合の意義及び労働基準法の精神について理解している。 ・ 社会資本の整備、公害の防止など環境の保全、少子高齢社会における社会保障の充実・安定化、消費者の保護について、それらの意義を理解している。 ・ 財政及び租税の意義、国民の納税の義務について理解している。 【思考・判断・表現】 ・ 対立と合意、効率と公正、分業と交換、希少性などに着目して、個人や企業の経済活動における役割と責任や、社会生活における職業の意義と役割及び雇用と労働条件の改善について、現代社会の生活と関連付けて多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断したり、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりしている。

1	実力④ 学年末 テスト	地球社会と私たち ・ 国際社会の仕組み ・ さまざまな国際問題 ・ これからの地球社会と日本	・ 対立と合意，効率と公正，分業と交換，希少性などに着目して，市場の働きに委ねることが難しい諸問題に関して国や地方公共団体が果たす役割や，財政及び租税の役割について，現代社会の生活と関連付けて多面的・多角的に考察，構想したり，社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断したり，思考・判断したことを説明したり，それらを基に議論したりしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ 市場の働きと経済について，現代社会に見られる課題の解決に向けた学習を通して，主体的に社会に関わろうとしている。その際，自らの学習を振り返りながら調整し，粘り強く取り組んでいる。 ・ 国民の生活と政府の役割について，現代社会に見られる課題の解決に向けた学習を通して，主体的に社会に関わろうとしている。その際，自らの学習を振り返りながら調整し，粘り強く取り組んでいる。 【知識・技能】 ・ 世界平和の実現と人類の福祉の増大の観点から，国家相互の主権の尊重と協調，各国民の相互理解と協力的重要性について理解している。 ・ 地球環境問題や貧困問題などの国際社会の諸課題や，その解決のための様々な取り組み，日本の国際貢献について理解し，その知識を身に付けている。 ・ 国際社会の現状や諸課題に関する様々な資料を収集し，学習に役立つ情報を適切に選択し，的確に読み取ったり，図表などにまとめたりしている。 【思考・判断・表現】 ・ 様々な統計資料や写真，新聞記事などの読み取りを通して国際社会が抱える諸課題を見だし，対立と合意，効率と公正などの観点を踏まえて多面的・多角的に考察するとともに，それらを解決する方法について，持続可能な社会の観点から的確に表現している。 ・ 国際社会の諸課題やその解決への取り組みについて考察し，過程や結果を適切に表現したり，発表や討論などを通して考えを深めたりしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ 国際社会の抱える諸課題に対する関心を高め，課題を意欲的に追究し，より良い地球社会を築くための解決策について考え続けようとする態度が見られる。
2	実力⑤	■より良い社会を目指して	【知識・技能】 ・ 持続可能な社会を形成するために解決すべき社会の課題として，環境・エネルギー，人権・平和，伝統・文化，防災・安全，情報・技術などがあることを理解し，それらの知識を身に付けている。 ・ 持続可能な社会を実現するために解決すべき社会の課題とその解決策について，これまでの社会科で学習した知識と関連付けて理解している。 ・ 持続可能な社会を実現するために解決すべき社会の課題を探究するにあたって，様々な資料を適切に収集・選択し，活用している。 【思考・判断・表現】 ・ 持続可能な社会を実現するために解決すべき社会の課題について，地理的分野や歴史的分野の学習内容も踏まえて多面的・多角的に考察し，その結果をレポートに表現している。 ・ 持続可能な社会を実現するために解決すべき社会の課題の解決について，社会参画の観点で捉えるとともに，対立と合意，効率と公正などの観点を踏まえて考察している。